

【施設状況】

グループ名称	更北公民館、稲里・小島田・真島分館							
指定管理者名	更北地区住民自治協議会				法人番号	1700150081099		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副				
構成施設	3340	更北公民館						
	3338	更北公民館稲里分館						
	3336	更北公民館小島田分館						
	3337	更北公民館真島分館						
施設分類	01	企画型	施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	本館：多目的ホール1 料理教室1 陶芸教室1 学習室5 図書室1 児童室1 集会室1 稲里分館：集会室1 会議室1 料理教室1 和室1 多目的ホール1 小島田分館：和室1 学習室1 多目的室1 図書室1 真島分館：大会議室1 料理教室1 会議室6 学習室1 講義室1 図書室1							
施設設置目的	一定区域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。							
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> 時代の要請や地域課題に対応する多様な学級講座の開設、場の提供等の充実を図る。 子育てに関する学びと交流の機会を設けて、自主的で豊かな人間性を育む家庭教育の支援に努める。 地域の特性に応じた交流の機会と場としての各種サークル活動を支援し活力ある地域づくりへの参加を目指す。 住民自治協議会「公民館部会」との連携の中で、自主的、主体的で質の高い事業を展開し次世代を担う人材育成のための事業を行う 							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設貸出 成人学校運営 学級講座の企画、実施 図書貸出業務 住自協の公民館部会の事務 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	更北地区住民自治協議会	指定回数	1 回	
指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成31年3月31日	3年	管理運営開始日 平成28年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。			評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)			3

2 施設の有効活用

No. 91

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	更北公民館 利用者数	人	58,030	54,393	65,338	54,637	84%	3
	更北公民館稲里分館 利用者数	〃	18,623	21,016	20,898	18,821	90%	
	更北公民館小島田分館 利用者数	〃	7,166	7,249	7,960	8,705	109%	
	更北公民館真島分館 利用者数	〃	4,555	4,457	4,678	4,389	94%	
	更北公民館青木島分館 利用者数	〃	5,939	1,108			#DIV/0!	
	(更北公民館 利用率)	%	24.2	29.5	35.0	35.1	100%	
	(更北公民館分館 利用率)	〃	18.5	17.0	18.6	19.9	107%	
(特記事項) 青木島分館H28年9月取壊し								

事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案	追加事業、未実施事業及び未実施の理由
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 受講料の収受に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> 新規成人学校(そば打ち道場中級)・箱膳講座(6回)・ブラジル料理講座・中国茶講座・春、秋の寄せ植え講座・ラベンダースティック講座・ハーバリウム講座・片付け方講座・野菜ソムリエ&ホクト・篆刻講座(7回)・バラの接ぎ木講座・初めてのヨガ講座・そば打ち入門講座・親子でリズムエクササイズ・お正月花講座・しめ縄講座・夏休み親子講座(リサイクル工作・パステル絵画・飾り巻き寿司)・脳トレ講座・クリスマスコンサート
自主事業			

サービス維持・向上の取組み(広報等)	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを頻繁に更新し(住民自治協議会とは別)情報提供を行った(30年4月~31年3月閲覧回数8251回)。 講座のチラシなどを全戸回覧で周知した。 玄関ホールにモニターを設け講座、利用サークル等の様子を映し出した。
--------------------	--

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	<p>(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート</p> <p>(2) 調査、会議等の内容 <ul style="list-style-type: none"> 各講座終了後に受講者に配布し回収した。 受講者数696人 回答者数549人 (回収率78.9%) サークルや団体等の貸し館に関する利用者の要望については、学習室等利用後にチェック票により要望把握を行った。 </p> <p>(3) 調査、会議等の結果 講座の種類 受講者数696人、アンケート回答者549人(78.9%) (満足、ほぼ満足549人100%)、未回答147人(21.1%) ①秋の寄せ植え講座32人(満足31人(96.9%)、ほぼ満足1人(3.1%)) ②ラベンダースティック講座24人(満足23人(100%)、未回答1人) ③夏休み親子パステル絵画21人(満足18人(94.7%)、ほぼ満足1人(5.3%)、未回答2人) </p>	4
利用者からの評価・苦情等	<p>(1) 良好とする評価 講座アンケートの回答 ・自己流でやっていましたがとても勉強になりました。楽しく実践出来ました。(春の寄せ植え・秋の寄せ植え講座) ・難しいと思っていましたが、完成した喜びがあります。とても楽しかったです。(ラベンダースティック講座) ・身近にある材料を使って簡単にできるおもちゃをたくさん紹介してもらい楽しかったです。子どもも「自分で作った」という満足感や達成感を味わえて良かったです。(親子でリサイクル工作) ・家でも挑戦してみようと思います。とても楽しかったです。(夏休み親子でパステル絵画・飾り巻き寿司)</p> <p>(2) 苦情・改善等の要望事項 <ul style="list-style-type: none"> 社会参加型実践講座は抵抗がある。講座の内容を充実させて欲しい。(作新大学) 小島田分館長より自転車置場の外照明がなく夜間暗い事ため電灯を設置して欲しい、和室の畳の表替えを行って欲しいという要望があった。 本館利用者より集会室での会議等で使用するポータブルアンプを設置して欲しいとの要望があった。 </p> <p>《対応措置》 <ul style="list-style-type: none"> 社会参加型実践講座は必須講座としては無くした。館外学習研修講座を設けた。(作新大学) 年度末に小島田分館の外電気工事、和室の畳表替えを行った。 年度中にポータブルアンプを新規購入した。 </p>		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	22,930	使用料	52,960	歳入
	指定管理料	24,197,000	指定管理料	24,197,000	雑（納付金）	122,561	雑（納付金）	189,598	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料	447,188	行政財産 目的外使用料	440,494	
販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		歳出	
その他収入	2,010,000	その他収入	2,592,792	その他		その他			
計	26,207,000	計	26,789,792	計	592,679	計	683,052		
支出	人件費	10,849,110	人件費	11,267,405	指定管理料	24,197,000	指定管理料	23,187,000	歳出
	設備管理費	3,565,000	設備管理費	3,064,268	委託料		委託料	64,800	
	備品購入費	0	備品購入費	233,400	需用費	365,341	需用費	86,177	
	修繕費	0	修繕費	706,884	役務費		役務費		
	光熱水費	5,956,000	光熱水費	5,135,465	使用料・賃借料	96,614	使用料・賃借料	1,332,271	
	事業費	2,153,000	事業費	2,341,670	修繕費		修繕費		
	事務経費	2,592,000	事務経費	3,116,088	工事請負費	556,200	工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費		
	その他	1,091,890	その他	913,900	その他		その他		
	計	26,207,000	計	26,779,080	計	25,215,155	計	24,670,248	
自主事業	収入		収入					3	
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		10,712	差引	-24,622,476		-23,987,196	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								42.1%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長 1 (1) 主事 1 (1) 職員 3 (3)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	4
<p>協定内容・指定管理者提案</p>	
<p>追加された内容、未実施の内容及びその理由</p> <p>・学習が地域に還元される公民館活動の目的を追求するため、管内の小・中学校が進める『信州型コミュニティスクール』（地域と学校が一体となり、子どもを育てる仕組み）へ公民館利用者や地域の人的資源を派遣する役割を公民館が担った。 ・作新大学の学び方改革として、聴講型から「社会参加型実践講座」を取り入れて実践した。住み慣れた地域で生活を継続できるような支援について公民館がどのように関わっていけるかの模索した。</p>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由

講座終了後のアンケートでは、満足とほぼ満足を併せ100%の高評価を得ている点、HPやマスコミの利用等による積極的な広報活動や公民館の玄関ホールにモニターを設置し講座や行事、サークル活動について公民館を訪れる利用者に紹介していることから利用者評価を「4」とした。講座の学び方改革を行い、座学中心から地域に出て学ぶ講座を多く取り入れ地域で生活を継続できる支援づくりの講座を展開したことから地域連携を「4」とした。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等（改善されていない場合）

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

次年度においても引き続き質の高い施設活用、利用者サービス及び地域と連携した事業の実施に努めてほしい。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- * 広報・情報発信活動…講座の案内は、公民館報（年3回） 閲覧板で全戸回覧し周知を図るとともにホームページ上でも公民館情報を随時更新し最新の情報発信に努めた。
- * 人材活用…作新大学生による「施設慰問」、公民館利用団体（クラブ、サークル）による「地区内小・中学校学習支援」など、昨年に引き続き『お出かけ 公民館』の発想で、公民館の資源が地域で活かされた。信州型コミュニティスクールの中では、公民館が、地域と学校とをつなぐ役割を担うために、地域の豊富な人材の発掘や確保、活用などを積極的に進め活動の場が広がった。
- * コスト削減と還元…コスト削減に努め、利用者の利便性を考え備品購入や迅速な施設修繕を行い事業の充実と安全な設備の整備に充て利用者に還元した。
- * 講座ごとに受講者アンケートを行い、感想、意見、要望を把握し講座内容の充実を図るよう努めた。

② 業務の効率化に対する取組み

- * 年間11000冊程の利用貸出図書数に対しバーコード管理化が順調に進み利用集計等効率的に取り組むことができた。
- * 日頃の経費節減に努め、施設の修繕等施設利用者の利便性向上に繋がるよう努めた。
- * 新規講座開設のために講師との連携を密にし内容の充実を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- * 地域における住民の地域づくりへのニーズの多様化と地域差などにより把握することはとても難しい。
- * 長野市と指定管理者の相互の協力による管理・運営にずれが生じており、市立公民館のあり方について共通した見解が欲しい。
- * 日常業務に加えて、新たな事業や対応を求められる環境にあり、職員の業務の過剰につながる心配がある。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- * 講座募集時に定員オーバーになる人気講座については、回数を追加するように努めた。
- * 利用者の利便性、安全性を重要視して迅速な修繕対応に努めた。

② 次年度以降の取組み

- * 利用者アンケートに基づき、希望の多い講座を積極的に開講する。また、人数制限により参加できない方を減らすために複数回実施に努める。
- * 地域の歴史や文化に関わる講座を、地域の人材を活かして企画する。
- * 児童生徒・子育て世代を対象とした長期（夏・冬・春）休みを活用した講座を開催していきたい。
- * 「ふるさとを学ぶ」をキーワードにした小・中学校との活動連携を強化していきたい。
- * 市立公民館の交流センター化についての研究
- * 「居場所づくり」について、公民館でできる活動を模索していきたい。
- * 「公共建築物保全マニュアル」に基づく点検を行い施設の適正な管理に努める。